

## 米サッカーチーム 'ジョージア・ユナイテッド'被災地視察 (2016.4.6)

東日本大震災の翌年から毎年来日し、各地で親善試合を行っている65歳以上のサッカーチーム、「ジョージア・ユナイテッド」が、初めて被災地の視察に宮城県を訪れました。2012年にはチャリティーマッチで集めた義援金を、被災地の少年少女のサッカー活動に役立ててほしいと寄付されました。

ニュースで見た津波を、改めて現地でその被害の大きさと共に実感し、参加者は一様に真剣な表情で説明を受けていました。午後は宮城フェニックスサッカークラブとの親善試合に臨みました。

スポーツを愛する陽気で親日家の参加者たちをGOZAINの片山、川崎、小笠原がガイドしました。



快晴に恵まれた荒浜の防潮堤にて。撮影：宮城PSC 池田さん



荒浜の慰霊碑と観音像の前で片山さんがガイド



津波で岩手の実家が被災した様子を川崎さんが参加者に語る



津波が押し寄せた荒浜海岸にて小笠原さんがガイド



かつての荒浜の豊かな暮らしを写真と共に紹介



J1が行われるスタジアムで宮城フェニックスSCと親善試合